

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第一中学校

全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	58.3	・全体的に東京都や、全国の数値を上回っているものが多い。特に「短歌の表現技法を理解している」「行書の特徴を理解している」等の基本的な知識の問題の数値が高い。また、その知識を活用した「具体と抽象の関係を捉える」「情報を取捨選択し適切なものを答える」といった問題の正答率も高い。国語の時間に学習した内容が全体的に定着していると思われる。	・「話合いの中から適切な内容を捉える」「話合いの中での資料の活用する」「文章と図を結び付けて考える」「短歌の時間軸を捉え、順番に並び替える」といったように、問題を解くためにいくつかのステップを踏む必要があるものや、何か別のものを比較して考える問題が課題となっている。基本的な知識を基に、資料等を活用した応用問題にも取り組んでいく必要がある。
	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	69.1		
	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	41.1		
	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	44.6		
数学	文字を使って連続する偶数を表す	42.9	・9割の問題で東京都や全国の正答率を上回っている。特に、知識・技能の観点では、どの単元でも高い正答率である。 ・規則性を見出す問題や、正しいグラフを選択する問題など、事象の特徴を見出し、表現する能力は定着している傾向である。	・式やグラフ、図形の性質などを根拠に説明したり証明したりする問題に課題が見られる。根拠をもとに説明する問題は日ごろから取り組んでおり、全国や東京都の正答率と比較すると10%程度上回ってはいるが、正答率そのものが低いため、引き続き重点をおいて指導していく必要がある。
	魔法陣の規則性を見出し、説明文を完成させる	42.9		
	箱ひげ図を比較してデータの性質を見出し、根拠をもとに説明する	38.9		
	変化の様子から値を予測し、式やグラフを根拠に説明する	24		